

ソレダケノモン方式コーチング

その生徒が、それだけのもん

xしてまで種目yで結果zを出したいとは思わない。
xしてでも種目yで結果zを出したいと思う。

意欲、向上心、積極性、価値観、好み

xすれば種目yで結果zを出せる。
xしても種目yで結果zを出せない。

素質、才能、到達済み能力

良くも悪くも

その先生が、それだけのもん

種目yの魅力をどれだけ知っているか、伝える事が出来るか

選手経験、感受性、表現力

どうすればどうなるかを、どのくらい知っているか。

種目知識

どうすればどうなるかを、どのくらい生徒に伝える事が出来るか

説明実技能力

その種目が、それだけのもん

xしてまで種目yで結果zを出したいとは思われない。

xしてでも種目yで結果zを出したいと思われる。

yの魅力

yの人気

xすれば種目yで結果zを出せる。
xしても種目yでは結果zを出せない。

yの競争の激しさ

	正当	不当
生徒	<p>入部申込内容として低い積極度を申告し、入部できた場合、入部後も、積極度を上げる様に要求・勧説されても、卒業まで全く応じない。</p> <p>どうすればどうなるか、先生の言っている事を信じない。</p>	<p>入部申込内容として高い積極度を申告したのに、入部後の実際の積極度が、申告内容を下回っている。</p> <p>自分が申告した積極度を超えてしまう、という理由以外の理由で、可能な限り良い結果を出す様に努力しない。</p>
先生	<p>素質が高いが積極度が高くない生徒と、素質が低く積極度が高い生徒の入部が、両立しない場合、素質と積極度の相乗効果の結果が大きい方(それが積極度が高くなかったり方の生徒であっても)を入部させる。</p> <p>入部資格の判断基準として、素質と到達済み能力だけを用いる。</p> <p>入部資格の判断基準として、積極度のみを用いる。</p> <p>どうすればどうなるかを生徒に告げる。</p> <p>入部時申告積極度を超えて積極的に練習する様に、セールスマンに許されている範囲内での、勧説をする。</p>	<p>生徒が試合で負けた事を非難・呵責したり、それに対し罰を課す。</p> <p>生徒の生まれつきの愚鈍を叱責する。</p> <p>低い積極度を申告して入部申込した生徒を自分で入部させておきながら、入部後に、積極度を上げる様に、その生徒に強要する。</p> <p>積極度と素質の両方が低い生徒を、両方が高い生徒よりも優先的に入部させる。くじ以外他種目や他チームの先生に対する営業妨害や名譽棄損に相当する行為。</p> <p>生徒に危機感や自信を持たせるために、どうすればどうなるかを、曲げて告げる。ハッパ途中退部の自由の存在を生徒に隠す。</p> <p>積極度が低い理由に成っている、生徒の何をどう思うか、に対しての非難・呵責。押し売り行為。</p>